

## 活動実績報告書

平成26年 4月14日

登録番号 20130612

氏 名 小 田 真 二

## 1. 活動状況

平成23年4月 ～ 平成26年3月

## ・ 活動の概要

山梨県峡東地域管内3市(笛吹市、山梨市、甲州市)及び当管内事業体への森林経営計画認定・策定支援。

## ・ 当該活動を挙げた理由

平成23年度から担当する3市の森林整備計画の樹立や管内事業体への森林経営計画作成準備支援を行ってきたところで、平成24年度以降の実行段階において着実に事業が実施できるように関係者の連携を強化しながら、間断なく技術的な支援を行う必要がある。

## ・ 当該活動における、あなたの立場と役割

3市の実務担当者と管内2つの森林組合、森林所有者の3者間、及び森林組合と素材生産者等事業体間の調整役を務めるとともに、計画制度の仕組みの周知、現場施業技術指導、森林経営計画の認定支援を担う役割。

## ・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

## ① 市の森林経営計画認定実務者への技術支援、森林組合等事業体への計画作成支援

各市とも林業を専門とした担当職員がいないため、森林経営計画の認定業務を円滑に行えるように、市職員の現地確認や森林組合と市の打ち合わせの際に同席し、両者へ専門的なアドバイスを行った。

## ② 森林組合と素材生産者等の連携支援

規模の小さい森林組合が施業の集約化を図り、面的な広がりをもった整備を行うためには川下との流通経路をもつ素材生産者等と森林組合が手を携えることが欠かせないため地域の複数の事業体と森林組合との連携による森林整備を推進した。

## ③ 地域資源と需要に応じた施業技術支援

3市の森林資源の特徴として、ヒノキ、カラマツのほかアカマツや広葉樹が多く存在しているため、アカマツ材の利用と絡めて、コナラ等を主とする広葉樹林への誘導など新たな施業技術支援を行った。

## ・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

## ① 市の森林経営計画認定実務者への技術支援、森林組合等事業体への計画作成支援

森林簿情報と現況森林、所有者情報に乖離が多く見受けられ、市と連携して所有者情報の共有を図ったものの、事業体による森林経営計画作成にあたり、時間を多く費やす結果となった。このため、事業体が作成する地域の情報について、あらかじめ市と情報を共有し、森林経営計画が順調に作成されるように森林簿情報の最新化を図る。

## ② 森林組合と素材生産者等の連携支援

社会情勢の変化による新たな事業創出や各種制度の改正など森林組合等事業体が地域において整備する際の選択肢が素材生産だけではなくなっているため、地域の森づくりニーズと整備目標を的確に捉えて、連携支援を図る必要がある。

## ③ 地域資源と需要に応じた施業技術支援

松くい虫による荒廃松林を更新伐により、広葉樹林へ誘導する手法を導くことができたので、今後は鹿による被害を含め、更新樹種の生育をモニタリングする必要がある。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

## 2. 研修の受講状況

### 研修名 日本型フォレスター育成研修(准フォレスター研修)

平成23年7月、10月  
(実施主体) 一般社団法人 林業人材育成支援普及センター／林野庁

### 研修名 日本型フォレスター育成研修(通信研修)

平成23年12月  
(実施主体) 一般社団法人 林業人材育成支援普及センター／林野庁

### 研修名 日本型フォレスター育成研修(集合研修)

平成24年2月  
(実施主体) 一般社団法人 林業人材育成支援普及センター／林野庁

## 3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- 林業普及指導員関東・山梨ブロックシンポジウムにおける活動事例発表  
平成23年8月  
(実施主体) 林野庁／山梨県
- 森林施業プランナーステップアップ研修へのサポート参加  
平成24年9月  
(実施主体) 全国森林組合連合会
- 平成24年度流域管理・地域材供給システム構築(民・国連携強化)研修への参加  
平成24年12月  
(実施主体) 林野庁

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。